

特集

ついに富山県ドクターヘリが運航開始!

各科日より 23P

認知症予防に期待を込めて

精神科

無痛分娩について

産婦人科

訪問看護ステーションをご存知ですか?

6P

大規模な地震発生時における

災害を想定した訓練を行いました

7P

医療サービスの質の向上をめざして

第15回TQM大会 8P

院長伝言板

患者総合支援センター「おあしす」日より

市立砺波総合病院憲章

わたくしたちは 市立砺波総合病院の職員であることを誇りとし 愛と奉仕の精神のもとに 病気で悩める人々を癒すことに互いの心を結集し この憲章を定めます

市立砺波総合病院は

- 1 患者さんの権利を尊重します
- 1 信頼できる医療を提供します
- 1 医療の安全を追求します
- 1 優しい医療を行います
- 1 職員が働く喜びと誇りの持てる職場をめざします

理念

地域に開かれ
地域住民に親しまれ
信頼される病院



市立砺波総合病院
Tonami General Hospital

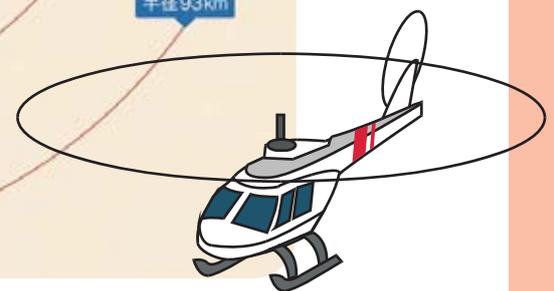
〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
TEL 0763-32-3320(代表) FAX 0763-33-1487(総務課)
E-mail tgh-somu@city.tonami.lg.jp
ホームページ <http://www.city.tonami.toyama.jp/tgh>

特集

ついに

富山県ドクターヘリが

運航開始!



富山県ドクターヘリが8月24日から運航されています。全国では38番目、46機目の導入ですが、北陸では初の導入になります。富山県は元々コンパクトな県。救急車が救急受けてから現場に到着するまでの時間や病院に搬送するまでの時間は全国1、2位の早さでした。しかし、病院まで遠い地域では時間がかかり、治療の開始が早ければ救えたはずの命がありました。今回導入されたドクターヘリは医療機器や医薬品を搭載し、医師と看護師（フライトドクター・ナース）が同乗しています。基地病院である富山県立中央病院に常駐し、救急隊からの要請に応じて県内のほぼ全域を10分以内で行くことができます。したがってドクターヘリは、病院まで遠い地域からの搬送時間を短縮できるだけではなく、重症患者さんに対して現場からいち早く治療を開始するための医療チームのデリバリーシステムなのです。その結果、一刻一秒を争う病気や外傷患者さんの救命率の向上や後遺症の軽減が期待されます。

1 運航範囲

富山県全域と岐阜県飛騨地域北部を運航します(図)。

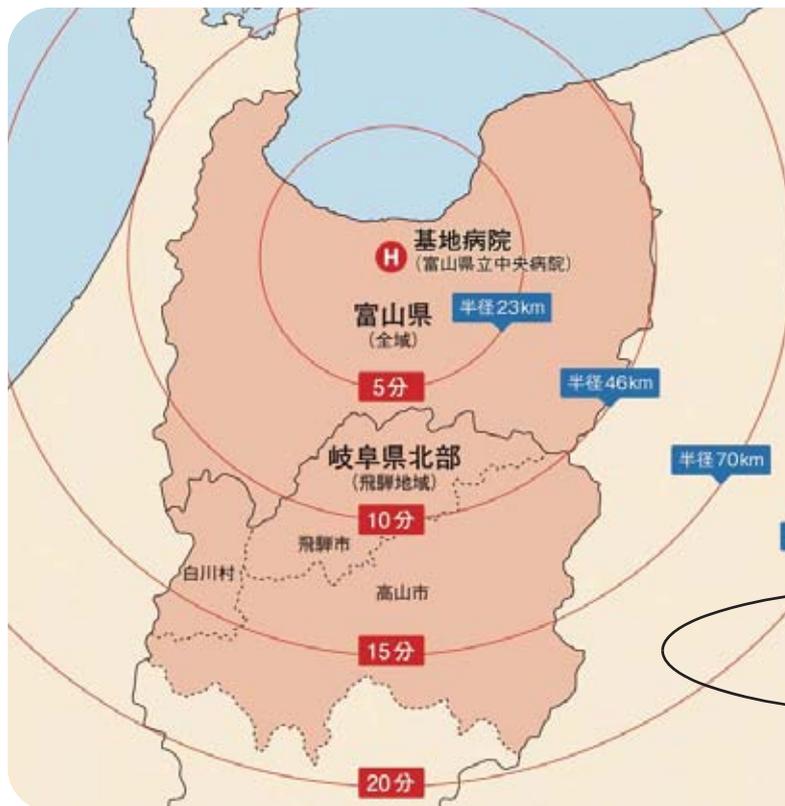
2 運航時間

原則として年間休みなく運航します。安全のため運航は日中のみであり、視界不良な悪天候や強風時には運航を中止します。

3 運航の実際

119番通報の内容から消防機関が一定の判断基準のもとに、重傷傷病者が発生する

ような事故や脳卒中中、心筋梗塞などの急を要する病気と判断した場合に、ドクターヘリを富山県立中央病院に要請します(キーワード方式)。ドクターヘリはその要請を受けて5分以内に病院を離陸します。ヘリコプターが向かう先は直



接の現場ではなく、患者さんを乗せた救急車と合流するための「ランデブーポイント」です。ランデブーポイントとして、砺波市内には35、砺波医療圏には計95箇所の公園、運動場、学校の校庭などが予め設定されています。

市民の皆様へのご協力をお願い

ドクターヘリが近くに着陸する場合には速やかに待避して下さい。また、離着陸時には吹き降ろしの強風や騒音が発生します。物が吹き飛ばされないよう注意願います。また、現在は主に公共施設がランデブーポイントになっていますが、将来ランデブーポイントがもっと多くなれば多くなるほど、発生現場とランデブーポイントの距離が短くなり、医療チームは早く治療を開始できるようになります。ランデブーポイントに相應しい場所を有する市民の皆様にはご理解とご協力をお願いします。

医療チームは救急車内で必要な診察と処置を行ったあと、患者さんをヘリコプター内に移動し病院に運びます。搬送される病院は、基地病院である富山県立中央病院のほか、現場により近い地点にあるヘリコプターで搬送可能な病院がフライトドクターによって選ばれます（表）。当院は利便性の高い屋上ヘリポートを有しているため、ドクターヘリの運航が開始されて1ヶ月の間に既に5件の搬送がありました。

+ 患者さんの受け入れ先病院

（○は敷地内にヘリポートを有する病院です）

- ・ 基地病院である富山県立中央病院にそのまま搬送する場合がありますが、基本的には当院のような同じ医療圏内の対応可能な病院に搬送します。
 - 黒部市民病院
 - 国立大学法人富山大学附属病院
 - ・ 富山赤十字病院
 - ・ 富山県済生会富山病院
 - 富山市立富山市民病院
 - ・ 八尾総合病院
- ・ 富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
 - 高岡市民病院
 - ・ 独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
 - ・ 富山県済生会高岡病院
 - ・ 射水市民病院
- 公立学校共済組合北陸中央病院
- 市立砺波総合病院
 - 南砺市民病院



認知症予防に期待を込めて

精神科

酒井 義典

はじめに

10年後の2025年には認知症患者が70万人前後に達すると推計されており、これは65歳以上の高齢者の約1/5に相当することから、今後益々身近な問題になっていくことが予想されます。現在、認知症治療薬は4種類あり、一つを除いてアルツハイマー型認知症のみ保険適用が認められています。しかし、それらの薬剤は発症後の症状改善が期待できませんが、予防効果を示す確かなデータはありません。そこで今回は、認知症の大半を占めるアルツハイマー型認知症に関して、予防もしくは発症の遅延が期待できそうなサプリメントや食用油に関する情報をご紹介します。



米ぬかから生まれた サプリメント

アルツハイマー型認知症の発症メカニズムとして、アミロイド仮説というものがありますが、これはアミロイドBというタンパク質の過剰蓄積を発端とし、その毒性により神経細胞が徐々に変性し死滅していくことで発症するというものです。この仮説に基づく研究では、アルツハイマー型認知症を発症する20年ほど前からアミロイドβの蓄積が始まると言われていますが、早期の段階で抑止できる医薬品は未だ存在しないため、アミロイドβの凝集を抑制する効果を持つ米ぬか由来のフェルラ酸に期待が寄せられています。認知症医療に新風を吹き込み全国に名を轟かせている名古屋フォレストクリニック院長の河野和彦先生は、30年に及ぶ自身の認知症治療技術を体系化し、コウノメソッドとして公開し普及活動に邁進されていますが、サプリメント



ントの活用を処方哲学の一つに掲げ、アルツハイマー型認知症を始めとする様々な認知症疾患の治療に応用されています。今春より当科でも同先生が推奨されるサプリメントを外来で紹介しております。当科外来で確かな手応えを感じるにはまだ時間を要しますが、予防効果を期待して私の両親と私自身も毎日服用しております。

良い油で認知症予防

健康ブームは昨今に限ったことではありませんが、ここ最近ω(オメガ)3脂肪酸という言葉がテレビで耳にすることがあります。ω3脂肪酸は、魚油に含まれるEPA(エイコサペンタエン酸)、DHA(ドコサヘキサエン

酸)およびアマニ油やエゴマ油に多く含まれるαリノレン酸などの総称であり、血液をサラサラにし、動脈硬化を予防する働きが知られています。一方で、サラダ油(リノール酸系)の害害に関する書籍は多数出版されており、金沢大学の脳科学専門医・医学博士である山嶋哲盛先生も著者のお一人です。サラダ油を加熱することで生じるヒドロキシノネールは強い酸化力を持ち、酸化ストレスに特に弱いとされる海馬(記憶の中枢)にダメージを与えます。山嶋先生は、自身の長年の研究に裏打ちされた独自の理論(カルパイン・カテプシン仮説)とヒドロキシノネールとの関連からアルツハイマー型認知症の発症に関する新説を提唱し、サラダ油の不使用や良質な油(ω3脂肪酸)の積極的な摂取



により神経細胞を酸化ストレスから守ることが、同疾患の予防に繋がると述べておられます。私の家庭でもサラダ油は一切使用せず、加熱する場合はオリーブオイル、ごま油、米油を、生食用にはアマニ油、エゴマ油を使用しています。

おわりに

今回ご紹介しましたフェルラ酸含有サプリメントは、予防効果だけでなく薬物療法との併用により発症後の症状改善にも役立つことが期待されています。医療機関の紹介がないとご購入いただけませんので、ご興味がありましたらお気軽に当科までご相談ください。食用油に関する詳しい情報は、山嶋先生の著書をご購読ください。科学的な内容でありながらとても分かりやすく勉強になります。先生のおすすめの食用油やサプリメントの紹介もあります。

訪問看護ステーションをご存知ですか？

市立砺波総合病院に、今年4月より 「砺波市訪問看護ステーション」ができました。

- ・看護師などが自宅を訪問し、病気や障害に応じたケアを行います。
- ・家族が介護を続けられるよう相談にのり、助言や指導をします。
- ・かかりつけ医に相談しながら、指示に従って医療処置を行います。
- ・緊急時や急変時は、24時間365日体制でサポートします。
- ・医療保険でも介護保険、労災、公的扶助もご利用になれます。
- ・乳幼児から高齢者まで年齢に制限はありません。



ステーションの1日をご紹介します。

朝のミーティング



訪問先へ出発



安全運転

利用者宅へ到着



こんにちは
〇〇です

病状観察・ケア



安定して
ますね

戻りました



ただいま

夕方のミーティング



明日も
がんばるぞ!

●ご質問・お問い合わせは

地域包括支援センター、総合病院地域連携室、ケアマネージャー、病棟の看護師さん、
砺波市訪問看護ステーション(32-7055)まで、お気軽にご相談ください。

大規模な地震発生時における 災害を想定した訓練を行いました。

平成27年8月23日(日)大規模災害時において迅速で効率的な人命救助がおこなえるよう、複数医療班の総括及び指揮系統の確立を図り、消防と医療機関及び関係機関が連携を密にし、災害時に万全の体制で対応できることを目的とした砺波市総合防災訓練が行われました。当院においても、同日、災害拠点病院として医療救護活動を迅速かつ円滑に行い、災害発生時における初動医療救護体制の充実と強化を図るための災害拠点病院訓練を行いました。



災害想定

午前8時00分に富山県西部を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生し、砺波市内では震度6弱を観測、複数の木造家屋が倒壊し多数の傷病者が発生。

非常事態宣言発令、各部門設置後、正面玄関に傷病者が多数押し寄せてきた。

速やかに暫定災害対策本部が設置されます。



暫定災害対策本部では、災害対策本部が設置されるまで全体の指揮をとります。

地震を覚知した職員が病院へ集結します。



その後、正式な災害対策本部が設置されます。



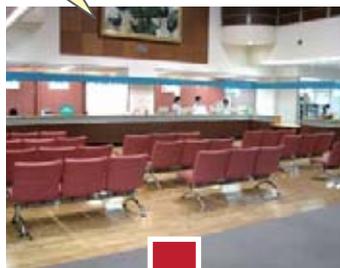
災害対策本部には院内外の様々な情報が集約されます。それらを基に、院内全体の総括指示を行います。

DMATが到着しました。



DMATは災害現場での医療だけでなく、院内での診療補助、広域医療搬送を行います。

正面待合は、



治療エリアへ変わります。

重症度や緊急度に応じて適切な処置や搬送が行えるよう、治療の優先度を決定(トリアージ)する部門が設置されます。



トリアージ後、それぞれ設定された場所にて治療が行われます。

※今回の訓練には、高岡市民病院DMAT、厚生連高岡病院DMATが参加されました。

**市立砺波総合病院は、砺波医療圏唯一の災害拠点病院です。
いつ何時発生するか分からない災害に備え、これからも万全の態勢を取っていきます。**

医療サービスの質の向上をめざして 第15回TQM大会

当院では、職員全員が日頃より環境整備のための改善に取り組み、病院全体の医療サービスの質の向上をめざしたTQM（総合的医療内容管理）活動を継続しており、各職場における改善活動とその成果の発表の場として、毎年TQM大会を開催しています。

今年7月18日に開催した第15回TQM大会では、「『まごころ』に根ざした連携」の院長方針のもと、新生児蘇生システムの構築や医療廃棄物の分別収集、救急待合室の問診スペース設置などの改善活動とその成果について、10サークルが発表しました。

最優秀賞には、松葉杖の適正な貸し出しと管理について、2年間継続して改善活動に取り組み、返却されない松葉杖0%を目標達成したサークル「のっぽさんとつえっぴい」の発表が選ばれました。このようなTQM活動を通じて、今後とも、皆さんに安心して通院・入院していただけるよう、医療サービスの質の向上に努めてまいります。



最優秀賞を受賞された「のっぽさんとつえっぴい」

院長伝言板 70歳以上の5人に一人が栄養失調？！

食の欧米化によるメタボが強調されるあまり、肉の食べ過ぎは悪で、粗食こそ長寿の秘訣だとお考えではありませんか？ この思いが強いためか、今や元気そうな高齢者の5人に一人が栄養失調だと報告されています。特にタンパク質不足は、認知症や寝たきりになりやすいなど健康寿命を縮める可能性が高いことが分かってきました。魚や大豆でも、タンパク質をとることはできますが、肉は鉄分や脂肪など、ほかの栄養も一緒にとれるうえ、必要なたんぱく質を効率よく摂取できます。高齢者こそ、タンパク源として「肉」を食べましょう。



患者総合支援センター

おあしすだより

「おあしす」では、これまで各科外来・病棟看護師が行っていた、入院に関する手続き・持ち物の説明・お薬の確認・入院案内を始めて1年になります。



わたしたちスタッフは、今後も患者さんが、安心して入院していただけるよう努力していきたいと思えます。心配なこと、相談ごとがあれば、お気軽にお声をかけてください。

また、入院、退院時にお荷物を運搬される際にカートのご利用の希望があれば、一声かけてください。

『患者さんの権利を守るために』

1. 当院では、病気を克服しようとしておられる患者さんの人権を尊重し、その経済的・社会的地位、年齢、性別、疾病の種類などにかかわらず平等で最良の医療を提供します。
2. 当院では、患者さんと一緒に病気を克服するために、患者さんが既に実施された診療の内容と、これから行われようとする検査、及び治療の目的、方法、内容、危険性、治療の見通し及び、これに代わる他の治療法について十分説明し、さらに患者さんの治療に対する希望もお聞きし、相互の理解を得た上で、医療を行います。
3. 当院では、患者さんの希望があれば原則として、患者さん本人にカルテを開示いたします。また、他の医療機関にかかり意見を求めるためや、他の医療機関に移られるときには全ての情報をお渡します。
4. 当院では、患者さんのプライバシーを守るために、患者さんの承諾なく当院の医療従事者以外の第三者に患者さんの情報を開示いたしません。
5. 患者さんの権利には義務と責任が伴います。

以上を守り診療することを約束いたします。

診療案内

外来診療受付時間

□ 新患 午前8時15分から午前11時まで

□ 再診 午前8時00分から午前11時まで

※診療科・曜日によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

休診日

土・日・休日および年末年始